

学校 番号	23	学校名	長野県更級農業高等学校
----------	----	-----	-------------

## 平成 26 年度 学校評議員活用状況報告書

### 第 1 回学校評議員会 【平成 26 年 6 月 10 日（火）実施】

#### 1 実施概要（協議研究事項を含む）

- (1) 参加者  
学校評議員 4 人(欠 3)、学校関係者 9 人（校長・教頭・事務長・教務主任・生徒指導主事・進路指導主事・生徒会主任代理・農場主任・学校評価委員長）
- (2) 内 容（次第）  
 <授業参観> 2 年生 農業科目（各コース別授業）  
 <評議員会> ①開会のことば ②学校長あいさつ ③学校評議員委嘱 ④自己紹介 ⑤学校概要（学校の近況、学校評価、生徒指導、進路指導・学習指導、生徒会活動、農業教育） ⑥学校評議員からの意見聴取 ⑦まとめ ⑧閉会のことば

#### 2 今回の実施に当たって工夫したこと

- (1) 本年度は新規に 3 名が評議員となったため、評議員会に先立って授業参観を実施し、授業の内容や生徒の実態をご覧いただくことで、具体的な学校理解につなげることができた。
- (2) 学校評価計画や主要分掌の教育計画、学校要覧、学校紹介リーフレット、広報情報紙（「更農Newspaper」(教務発行)、「めぐり」(新聞委員会発行)）を資料とし、本校の特色と魅力、生徒の活躍の様子をお伝えした。

#### 3 今回話題になった事項で特徴的なものとその概要

- (1) 本校の印象について
- ・近隣のせいか、中学生の興味関心は高まっている。時代のニーズに応えたコース作りをしていると感じる。(評議員)
  - ・廊下での元気なあいさつが気持ちよかった。(評議員)
  - ・今年度入学生の女子の減少を見て、各コースごとの男女バランスが授業内容に影響を与えるのではないかと、心配がある。(評議員)
  - ・少し前の生徒たちと比べて、腰パンの子がいなくなり、だらしない子がいなくなった。(評議員)
  - ・塾ではなく、学校で子どもの進路指導をすべて引き受けていただいてありがたい。良いところをどんどん伸ばしていただきたい。(評議員)
- (2) 人材育成及び身につけさせたい資質・能力について
- ・ラジオ番組でたまたま本校卒業生（女子）が出演しており、現在の仕事（漬物屋さん）におけるいきいきとした活動ぶりや、自分の考えを明確に語る様子に驚いた。本日の授業や廊下での生徒の様子を見て、そのような教育がなされていることがわかる。今後も続けていただきたい。(評議員)
  - ・当たり前なことを当たり前のこととできないだけでなく、その意識もない若者が増えている。当たり前のことを当たり前でできる生徒を育ててほしい。(評議員)
  - ・あいさつひとつできない新人が職場にいる。そういうひととしての基本をまず身に付けさせてほしい。(評議員)
- (3) 進路指導について
- ・就職希望者が増加傾向にあり、個人ごとの面接等の指導に力を入れ、内定率アップに努めている。キャリア教育全体計画にそって、系統的・段階的な指導を行い、学校生活の各場面で社会人基礎力を身に付けさせたい。特に今年度は初の試みとして、3 年生のコーススタディだけでなく、2 年生全員が就業体験を行う。早い段階からの社会との接触を通して、将来設計やコミュニケーション能力を育てたい。(学校)
  - ・キャリア教育が丁寧に行われている。自分の考えを発信し、堂々とものが言える人間を育ててもらいたい。(評議員)

#### 4 成果と課題（学校評議員会以外の活用状況を含む）

- ・社会人を直接送り出すことの多い高校として、どのような能力や態度を育成したらよいか、評議員の方から現場での人材育成に関する課題をお聞きすることができ、今後の学校教育の参考とし還元したい。
- ・進路指導や生徒指導に関する指導の結果や成果が目に見える形で表出している事柄については、評議員の皆様から一定の評価をいただいております。今後の励みとしたい。
- ・多角的な学習指導の充実（基礎学力向上、問題解決型の応用力育成）、系統的・段階的なキャリア教育の推進（生き方あり方の探求、社会人基礎力育成）、資格取得の推進（基礎的職業能力育成）、地域と連携した開かれた学校づくりの其々に努めるとともに、挨拶励行・制服指導・マナー徹底をこれからも図り、学校重点目標の実現に向けて学校運営を推進していきたい。